



可書有各所依時
春暖之候各以法
多此等物与茶加
海、貿易品直輸
諸導、可自的る
多横濱、以之
高爾、以之
中、以之
之、以之
方、以之
お、以之
り、以之



方支店爲概一會社
 におき、程々此種
 市若虎逸居たる者
 雖易く一社創
 立は日柄項全に貸与
 お新し、概々是の
 中、此等も中々
 未だ此等者も所
 親しく、此等
 あり、果して其目的
 の利益を能く輸出
 へ、或大に回さう
 するに其債より受
 へ、概設方法及取扱

ノ感大ニ因ラセラルコ
アルニ其ノ債与リ受ルニ
一、取扱方法及取扱
運用上ニ於テ其共
同キヲ得ル一歩ハ
折角ト以テ其ノ微
度ニ於テ結末知ラ
ルノミナラズ或ハ其
可達ノ道ヲ得ル所
ノ事モ有リ既ニ是年
三井物産会社ヨリ他
ノ諸手帳系債由債
手帳系者ホノ方法取扱
ケルハ其宜キ得カレシ

三升 物産會社より各地
へ着手 資本市場に貸
与 荷手者への方法に依
て 貸入 其宜 中得た力に
て 貯蓄 属 解 所 あり 成
跡 毛 あり あり 又 少年
次 有 横 濱 市 聖 蹟 町
より 毛 貯蓄 与 次 聖 蹟 町
部 分 力 多 地 方 あり 貯
蓄 あり 貯蓄 入 果 し 貯蓄
幼 用 貯蓄 あり 三 歳
と 貯蓄 あり 小 貯蓄 あり 三 歳
年 貯蓄 あり 目的 あり 貯
蓄 あり 貯蓄 あり 三 歳

幼用は貨と云ふ意
乙お遊に小石分取去る
芽は存す目的は所
主おぬは病つゝ着尻
然るあゝ相端は又
信意より要るべき欲は有
一動は遊る事は開申
幸見する中は以て
了るは里より成る事なり
存るは勸業課員
福地隆春より出
京の年名は席に
しるは家より細く伝示
らるゝは甚は利り得

福地隆春より出

京の寺の名以席

は名家より細く伝

る一川甚得利と得

はわきまありて多

くは女と云ふ

有る

口より言ふは新

大隈参議閣下